

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1491900062	事業の開始年月日	H21年10月1日	
		指定年月日	H21年10月1日	
法人名	株式会社 ニチイ学館			
事業所名	ニチイケアセンター衣笠			
所在地	(238-0032) 神奈川県横須賀市平作5-10-7			
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護 <input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	登録定員	名	
		通い定員	名	
		宿泊定員	名	
		定員計	18名	
		ユニット数	2ユニット	
自己評価作成日	H27年10月1日	評価結果 市町村受理日	平成28年1月25日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

H25年4月より共用型通所介護のサービスを始め、通いの方とホームで生活している方々と家庭的な雰囲気の中お客様の機能訓練・趣味・嗜好に合わせた活動を行いクリスマス会等ご家族と一緒に食事をしたりと交流をし又ニチイ祭りでは模擬店と音楽会 今年は大正琴を開催し地域の方々にも気楽に来訪して頂けるよう地域の方々にお声がけさせて頂いている

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人 かながわ福祉サービス振興会		
所在地	横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9階		
訪問調査日	平成27年10月19日	評価機関 評価決定日	平成28年1月7日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>【事業所の概要】 事業所は、横須賀線衣笠駅よりバスにて約10分の静かな住宅地に立地している。近くには花見に適した「しょうぶ苑」がある。</p> <p>【医療連携と看取りに関する指針の確立と実践】 医師と訪問看護ステーションの看護師が連携を図りながら、24時間連絡体制をとり、利用者の健康管理と医療相談を行っている。看取り介護を経験している。重度化した場合の指針を利用者と家族に説明し、家族の理解と協力を得て、看取りの意思を確認し利用者の尊厳を重視した支援に努めている。</p> <p>【運営推進会議を活かした取り組み】 運営推進会議は2か月に1回開催している。メンバーには町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、市の担当職員、利用者・家族などが参加し、運営内容や行事、外部評価の受審について話し合い、意見交換を行うなど、事業所はサービス内容の開示に努めている。</p> <p>【美味しい手作りの食事の提供】 食事の献立は、栄養のバランスを考え、調理の本などを参考にして、職員が作っている。食材はスーパーマーケットの配達を利用しているほか、買い出しにも行っている。利用者と一緒に下ごしらえや調理をして、美味しい食事の提供に努めている。食事の進み具合や好みを介護記録の特記事項に記録している。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	(株)ニチイ学館 ニチイケアセンター衣笠
ユニット名	ラン・カトレア

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
		○	3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
		○	3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
		○	3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
		○	3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事務所に理念を掲げ朝礼等にて各自唱和し業務内容を理解している	理念は「高齢者の尊厳の保持」を管理者が就任時に作成した。昨年、「一人一人の生き方を大切にして、その幸せを求めていく」を追加し具体的になった事で、職員は利用者中心のケアの実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	散歩・買い物等にて町内の方々と会話したり時には町内の行事等に参加し交流している	平作5丁目町内会に加入し、地域の夏祭りでは神輿や盆踊りを見物している。ヨガ、カラオケ、大正琴の演奏のボランティアが来訪している。利用者は椅子に座りヨガを楽しんでいる。	地域とのつながりを大切にするためにも、地域の防災訓練に参加したり、近隣の幼稚園や保育園との交流、小中学生の社会学習の受け入れなどを期待します。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	介護相談・見学会等 常開催している		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域包括の方に毎年 地域の問題点等の勉強会を開催し民生委員等の方々と意見交換しサービスの向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回開催している。会議では事業所の運営状況や活動内容、外部評価結果を説明し、意見交換を行い、地域の理解と支援を得てサービスの向上に活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	毎年 運営推進会議に参加して頂き意見交換にて実情を伝え協力関係を築くよう取り組んでいる	管理者は横須賀市指導監査課に運営面や業務上の問題点などを報告し、相談をしている。介護保険の要介護認定更新には家族に代わって立ち会うこともある。市主催の集団指導講習会などに参加して、情報交換を行っている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	内部研修にて職員に周知し拘束をしないケアを理解し取り組んでいる	職員は身体拘束廃止の研修を受講し、正しい理解に努めている。原則、玄関は施錠せず、見守りと声かけに努め自由な暮らしを支援しているが、落ち着かない利用者がある時は家族の了解を得て、施錠することもある。帰宅願望がでた利用者には職員が付き添っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修にて職員に周知し虐待をしないケアを理解し取り組んでいる		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	内部研修にて職員に周知しをし理解し取り組んでいる		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に十分な説明を行い理解・納得して頂いている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	社内での顧客満足度調査にて要望等を聞き運営に反映している	運営推進会議や家族会、家族の来訪時には、意見や要望を聞いて運営面に反映している。法人は年1回顧客満足度アンケート調査を実施している。他の利用者の洗濯物が混じっている時があるとの指摘があり、職員は留意している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月意見交換の時間を設けている	管理者は月1回の全体会議や朝・夕の申し送り時に日常業務についての意見や要望を聞き業務の改善に努めている。職員から利用者ごとのADLに応じた対応の仕方について提案があり話し合っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的なキャリアアップ制度にて面接・試験合格者には賃金アップあり 正社員には勤続年や資格手当の支給増		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月ホーム内研修を行っている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横須賀市等にて開催している研修に参加しホーム内研修に生かしサービスの質の向上に努めている		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ご本人の話しに耳を傾け今一番困っていること・不安はないか傾聴している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族の話しに耳を傾け今一番困っていること・不安はないか傾聴している		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	現在ご本人が何が一番必要としているか確認し対応に努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人から学んだり出来る事・出来ないことをフォローしながら関係を築いている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	来訪時や電話等にて色々な面で相談を受け関係を築いている		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	電話・来訪時・お手紙等にて関係が途切れないよう努めている	利用者は家族と一緒に夕食や墓参りに出掛けたり、お正月には日帰りで自宅へ帰り、家族と一緒に過ごす方もいる。利用者の知人や友人が来訪した際は居室で歓談してもらい、お茶出しのサービスをしている。年賀状が届いた時は、手渡している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	お互いできない所をフォロー・カバーし支えあっている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族の希望を聞き相談等支援に努めている		
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の希望・意向の把握に努めている	職員は日常の行動や表情の中から、利用者の意向や希望を汲み取るように努めている。意向を自分から伝えにくい方には入浴時のゆったりとした時、お茶飲み時、食事の時などの日常生活の中で話を聞いて思いの把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を活用し職員同士で共有している		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	出来ること・出来ないことの把握をし共有している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	6ヶ月に1回カンファレンスを開催し意見交換し作成している	入所時に自宅や病院を訪問したり、事業所の見学時に本人や家族と話し合っている。アセスメントを基に、職員間でカンファレンスし、医師や看護師の意見を入れて介護計画を作成している。見直しは通常6か月毎に行い、変化ある時は、随時状況に応じて行っている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録を毎日記入 残し見直し計画書の見直しがある時はその都度作成している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人のその日の気分や要望に答え臨機応変に対応している		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	出来ることはご自分で安心・安全な毎日が送れるよう支援している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	月2回の往診にて主治医と連携をとり時には主治医とご家族との仲介に入り支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医を継続して受診できるように支援している。家族に代わって職員が通院介助する場合もある。現在は、ほとんどの利用者が協力医療機関の往診医の受診をしている。医療情報は介護記録に記録し共有している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ノートを活用し相談したり等スムーズにことが運ぶよう支援している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	情報交換・相談したり等連携を行っている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	主治医・ご家族・管理者と話し合いの時間を設け検討・準備している	いままでに看取り介護を経験している。入居時に重度化した場合における対応に係る指針を説明し、同意を得ている。急変時には主治医、家族、職員が話し合い、利用者にとって最善の方法を採るという方針を関係者間で共有している。	急変時や重度化に備え、勉強会を行い、一層充実した看取り体制を整えることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	ホーム内の勉強会にて身に付けている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回 災害訓練を地域の方と交え行っている	防災・避難訓練は、夜間想定を含めて年2回実施している。うち、1回は運営推進会議に併せて行っている。訓練には自治会役員、民生委員、地域の方が参加して見守り役をしている。災害に備えて、非常食や飲料水は備蓄している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	個々の人格を把握・尊重し受容している	職員は入職時にプライバシー保護に関する誓約書を提出している。職員は日頃よりプライバシーを損ねることのないように、丁寧な言葉かけに心掛けている。個人情報を含む書類は錠のかかる書庫に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	毎日の会話の中でご本人の希望・要望を聞きのがさない自己決定ができる声かけを心がけている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	お茶の時間・食事の時間を活用し希望を聞き臨機応変に対応している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎朝 洋服選びを共有 又2ヶ月に1回 訪問美容師が来訪しカラー・パーマ・カットができるに支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の食べたい物を聞きメニュー決めから始め後片づけまで共有している	利用者は職員と一緒に料理の下ごしらえ、テーブル拭き、食器洗いなどを行っている。職員は食事介助や見守りしながら一緒に食事をしている。誕生会には天ぷら、刺身など利用者が希望する料理とケーキでお祝いしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の健康状態・好みの把握し支援している		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声がけにて口腔ケアしている		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し超えがけ誘導 ゆっくり排泄できるよう支援している	排泄表により、一人ひとりの排泄パターンを把握し、トイレでの排泄支援に努めている。食事の前後にはトイレへの声かけをしている。入所時にリハビリパンツを使っていた方が、布パンツへ改善した方がいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分・食事・運動にて工夫しているもそれでも改善できない時主治医に相談している		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	夜間帯の希望はお断りをしている できるだけ希望に沿うように努力はしている	入浴は、基本的には、週2回入浴できるように支援している。その他に足浴にも対応している。現在、入浴を好まない方はいない。季節が感じられる菖蒲湯やゆず湯を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人の希望に沿うように居室内の明るさや温度調整等を行っている		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服薬変更時 主治医にリスク等聞き職員間にて共有し記録に収めるようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	好きなこと特技等が楽しめる環境を整え支援している		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	毎日の散歩はかかさず（希望者）市内のイベントにて大丈夫と判断したらタクシーを使用し出かけたりする	天気が良い日には、車イスの方も事業所の周りや公園、花の道と言われる近くの歩道を散歩している。春にはしょうぶ苑のしょうぶ祭りに毎年出掛けている。外出時は家族にも協力をお願いしている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	毎日の買い物の中で支払いの支援している 個人の嗜好品購入時は個々のおこずかいにて支払いをする声かけをしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人の希望通りに支援している		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	清潔を保ち明るさ・温度調節・季節の飾りに工夫している	リビングは明るく日当たりもよく、床暖房の設備もある。換気や温・湿度の管理に配慮し、清潔に保たれている。衛生面に配慮し、毎食後清掃している。四季折々に鏡餅、ひな祭り、七夕祭り、クリスマスツリーを飾り、季節感を採り入れている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	場所の固定はせずご本人の気分にお任せしている		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	ご本人やご家族にお任せしている	居室はエアコン、クローゼット、防災カーテンを備え付け、利用者の使い慣れたイスやテーブル、整理ダンス、テレビを置き、仏壇や家族の写真を飾り居心地よく安心して過ごせるように工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	4Sを念頭に置き事故がないよう工夫している		

目 標 達 成 計 画

事業所名 (株) ニチイ学館
ニチイケアセンター衣笠

作成日 H28年1月25 日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	2	地域との繋がりが弱い	地域の行事ごとに1つでも多く参加する 学校等の社会学習の受け入れがない	回覧板・運営推進会議等にて情報をもらい地域の行事ごとに参加する 地域の学校等に出向き社会学習の受け入れできますと伝える	1年
2	12	看取り体験職員が少ない	職員全員が看取り体制をできる状態にする	H28年度の勉強会にとり込む	1年
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。